

【整備効果④】地域産業を支援

- 徳島県の発光ダイオードの出荷額は全国の8割を占めており、阿南市には世界的なLEDメーカーをはじめとしたLED関連企業が数多く立地していることで製造品出荷額は県内1位となっており、徳島県の経済を牽引しています。
- 今回の開通により、災害による通行止めや混雑などの影響を受けない信頼性の高い搬送ルートが形成され、LED関連企業を含めた地域産業の支援に寄与することが期待されます。

〈平面図〉

・原材料は坂出、神戸、大阪から入荷しています。(基本は本社入荷)
・本社へは数十台のローリー車が行き来しています。
資料) ヒアリング調査結果(R7.6)

(主要な搬送ルートの通行止め履歴(道路冠水))

県道16号・22号では災害による通行止めが頻発

▼県道16号・22号
(勝浦川橋南詰交差点～阿南IC)

期間	通行規制時間[分]
H7-H16	26.5
H17-H26	38.2
H27-R6	7.8

主要な搬送ルート(16号・22号)では、過去30年間で道路冠水により約73時間の通行止めが発生
資料) 徳島県提供データ(異常気象時等通行規制一覧)を基に集計

写真:(主)県道16号の冠水状況

撮影:H16.10

勝浦川、至阿南市

資料) LED関連企業データベースを基に作成(LED王国・徳島HP: R3.8時点)

※この地図は一般財団法人日本デジタル道路地図協会のデータベースを使用して作成したものである。

〈発光ダイオード(LED)の出荷額の全国シェア〉

全国の約8割
徳島県 83%

発光ダイオード出荷額 約2,917億円(R5)

その他 17%

資料) 2024年経済構造実態調査(R5実績)

〈徳島県の製造品出荷額のシェア〉

徳島県の約1/4
阿南市 24.6%

板野町 8%
松茂町 9%
鳴門市 10%
徳島市 22%
その他 26%

製造品出荷額等 約2,3兆円(R5)

資料) 2024年経済構造実態調査(R5実績)

〈移動時間のバラツキ〉

▼県道130号・24号・22号(立江川橋西詰交差点～阿南IC)

ばらつき時間約17分

13分 30分

県道130号では所要時間のばらつきが大きく、定時性が低い

資料) ETC2.0プローブデータ(R6.9-10[平日])・昼間12時間

【地域(世界的LEDメーカー)の声】

- ・世界との価格競争に勝つには、物流コストの縮小も重要な要素のひとつです。一方で、ドライバー不足や拘束時間の短縮といった課題があるため、移動時間の短縮や定時性が向上すれば物流効率化につながると考えています。
- ・また、災害などで道路が寸断されると、入出荷ができず事業継続に大きな影響を及ぼすため、新たなルートの整備は必要不可欠と考えています。

資料) ヒアリング調査結果(R7.6)

5